

様々な不調や難病の原因が、ヘルペスと化学物質
であることは明らか。現代医療により免疫を抑え、
さらにヘルペスが増えます。

「自分の免疫で治す！関節リウマチ」匿名希望

46 歳

2017年5月12日

リウマチの症状が出てすぐに松本医院で治療を始めてから1年5ヵ月。数値はまだ高いものの自覚症状がかなり改善されたため、ここまでの経過を報告させていただきます。

(症状)

①2015年12月

ある朝起きると、両手の指に、ずっと踏みつけられていたような痛みとこわばり。知人にリウマチの方がおられて、手足の指がこわばるという症状を聞いたことがあったので、すぐに「これはリウマチだ」と思いました。その頃、マラソンの練習のためアキレス腱の痛みを半年以上抱えて整形外科に通っていたので、そちらの先生に相談し、大きな病院で調べることになりました。手指の痛みは少しずつ強くなって、腫れていきました。

(この頃の痛み・・・手指のみ)

②2016年1月始め

血液検査や関節の痛みを調べ、1週間後に結果を聞きに行くと、「数値や条件を満たしていることから、リウマチと思われます。治療は早く始めた方がいいので、この強めの薬とちょっと弱めの薬とどちらにしますか。」と言われました。その頃知人から松本医院のことを聞き、自分でも抗リウマチ剤やステロイドの恐ろしさを調べ始めていたので、「漢方治療を考えています。」と伝えて、早速次の週に松本医院に向かいました。

(この頃の痛み・・・手指と足の指)

③2016年1月中旬 松本医院 治療開始

水痘帯状ヘルペス値 110.4、リンパ球 19。初診の時に松本先生から「病気を治すのは君自身の免疫やから」そして「アキレス腱の痛みもヘルペスやから治るで」と言ってもらいました。

④2016年1月下旬～3月

漢方（大防風湯・治打撲一方湯）とアシクロビル（1日16錠）・鍼灸の治療を始めると同時にリバウンドスタート。

（この頃の痛み）手の指がパンパンに腫れ、両肩、肘、手首、両膝、股関節、足の指へと痛みは広がっていきました。手のひら全体が痛点のようにしびれ、鉛筆も握れません。肩が上がらずセーターやコートを着るのが大変。ズボンを履く、上げる動作にも一苦勞していました。どこへ行くにもクッション性の高いジョギングシューズをはいて、それまでは出来るだけ階段を利用していたのですが、膝・足の痛みのため階段の上り下りが出来ず、エスカレーター・エレベーターを利用。

朝方3時4時に肩の内側がギリギリと痛み、歯を食いしばりながら夜が明けのを待つ日も。しかし、これは自分の免疫が頑張っている証拠だとわかっていたので、痛みがひどい時は「頑張れ、私！」と自分を励ましながら（笑）、気持ちは前向きに過ごしていました。

⑤2016年3月末

風邪 熱で3日間寝て過ごす（薬飲まず）。4日目、熱が下がると共に、全身の痛みが楽になってる！！先生に報告したところ、「熱で免疫が上がって、風邪の菌をやっつけるついでにヘルペスもやっつけてくれたんやな！」

全体的に10だった痛みが半分の5くらいに。もちろん痛みはありますが、一気にずいぶん楽になりました。免疫が病気を治すということを身をもって体験しました。この頃には、気づくとアキレス腱の痛みもすっかり治っていました。

⑥2016年4月～8月

日によって部分的に痛かったり、ましだったり。全体的には当初を10とすると4～5の痛み。手指は半分くらい曲げられるように。

（この頃の痛み・・・手指、左手首、左肩、膝、足裏、足指）

⑦2016年8月～12月

全体的には当初を10とすると4くらいの痛み。

（この頃の痛み・・・手指、左肩、膝、足裏、足指）

⑧2016年1月～現在

全体的には当初を10とすると2～3くらいの痛み。膝の痛みはなくなりま

した。肩も調子のよいときは忘れるくらいで、夜やストレスのかかることのある日などに少し痛くなります。指の痛みとこわばりはまだありますが、ほぼ最後まで握れるようになりました。免疫が体の中を順に巡り、ヘルペスがより増殖している場所が最後に残っている、そんなイメージです。そう言えばクラススイッチのアトピーは出ませんでした。）

(この頃の痛み・・・手指、左肩、足裏、足指)

(総括)

そもそも、リウマチを発症したのは、おそらくその前の1年間にストレスのかかることが重なったことが大きな原因だったと思います。それから、子どもの頃から体が弱く、しょっちゅう風邪を引いては薬を長期間飲んでいただけでよくなかったのだな、と今になって思います。

現在は少しずつジョギングも始め、部分的には痛みはあるものの、日常生活には支障のない状態です。最初に一般治療を受けずに松本医院に来たことは本当にラッキーでした。教えていただいた方に感謝です。抗リウマチ薬のように、せつかく異物と戦っている免疫を下げ、一時的に痛みを取る見せかけの治療と違って、免疫を上げて異物やヘルペスをやっつける松本医院の治療は何て理にかなっているのだろうと思いました。また、リウマチになったことでいろいろな知識を学べました。薬(化学物質)の怖さ、ヘルペスと免疫のこと、それから、鍼やお灸が病気の時だけでなく未病の時にこそやるべきということ。自分でも、玄米や無農薬ニンジンジュースを取り入れるなどもしてみました。

そして、やはり最後に残るのはヘルペスです。自覚症状はなくなったものの、水痘帯状ヘルペスの値は初診当初とさほど変わらず、今も免疫が戦っている状態ですし、EBウイルスもあることがわかりました。(Naoki君のツイッターやブログから、EBウイルスが関節リウマチの難治の原因となることも知りました。)

松本先生がおっしゃっているように、様々な不調や難病と言われている病気の原因が、ヘルペスと化学物質であることは明らかで、現代医療によって免疫を抑え、さらにヘルペスを増殖させてしまっていることを、医療に携わっている方々にはもっと知ってもらいたいです。そしてアシクロビルの保険適応・ソリブジンの復活を、本当に望みます。病気の仕組み、ヘルペスの事を完全に理解するのはまだまだ難しいですが、今後も勉強していきたいと思います。

最後に、まだしばらく治療は続くと思いますが、松本先生、鍼灸の本田先生、スタッフの皆様、いつもありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。





